



参議院議員

日本共産党

JCP HOPE



ito\_gaku

検索

# 伊藤 岳 ニュースレター

2020年8月15日 NO.11



参議院事務所 〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 609 tel.03-6550-0609 fax.03-6551-0609  
埼玉県事務所 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 tel.048-658-5551 fax.048-647-5755  
E-mail jcp.saitama-kokkai@ymail.plala.or.jp

発行：日本共産党国会議員団埼玉事務所

## 新型コロナウイルス対策

# 「ひとり親世帯給付金」は対象者全員に

### 「家計急変世帯を救って」「親と所得合算しないで」新座市議団とともに要望

伊藤岳参議院議員は、国の2次補正で予算化された「低所得のひとり親世帯臨時特別給付金」をめぐって新座市議団から寄せられた要望をもとに厚生労働省に届けました。(7月30日)

この給付金は基本給付が1世帯5万円プラス第2子以降1人につき3万円(条件を満たせば追加給付世帯5万円も受給可)。児童扶養手当を受けている世帯が原則給付対象ですが、受給している世帯と同じ水準までコロナの影響で所得が減った世帯も対象です。しかしながら、窓口では「児童扶養手当を受給している世帯でなければ『給付金』を受け取れない」という扱いがひろがり、対象から外されたひとり親世帯から相談が寄せられてい

ました。これらを要望書にとりまとめた新座市議団とともに厚生労働省の担当者から詳細を聞き取り、「17万世帯は家計急変世帯と推計し、113億円を予算化している」「条件をみれば児童手当を受給していない世帯も特別給付金を受給できる」と回答を得ました。

また、「生計同一関係にない」と解される客観的な証明があれば、同居している親と所得を合算されない場合もあること、離婚が成立していなくてもひとり親世帯とみなされるケースがあることなどが確認できました。同席した辻実樹議員は「伊藤議員のおかげで詳しい回答を聞くことができよかった。相談を寄せた人といっしょに、もう一度給付を求めます」と話しました。



左から伊藤議員、嶋田・小野・辻・石島新座市議(7月30日)



## 首長訪問を終えて

「伊藤岳の議席は埼玉 1/7 の議席」との信念から8月14日までに県内すべての市町村を訪問。首長はじめ関係者から貴重な意見を頂戴しました。この経験を国政に生かしていきます。

ご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。

伊藤 岳

## 水害時の高架活用を可能に

### 川島町渋谷町議とNEXCO東日本、国交省に交渉！

伊藤議員は、想定最大規模の洪水の際、町内全域が浸水してしまうと予測されている川島町の渋谷幸司議員から「①圏央道の法面(のりめん)に住民が避難できるよう階段などの設置を②川島インター周辺に避難場所を」との要望が寄せられ、この内容にもとづく国交省の見解と取り組みについてヒアリングを行いました。(7月28日) 国交省道路局高速道路課担当者は「住民

の命を守るために必要な高台避難として、高速道路を含む道路の高架利用がある」という考えを示しました。また、8月5日のNEXCO東日本関東支社との懇談では、同支社の所沢事務所長が「我々の道路が災害時に期待される道路の役割と両立して、命を助けるのに役立つのはうれしい」と答えました。守屋裕子県議も同席し、「ぜひ実現を」と要望しました。